



POLICE Information

夏期における水難事故の防止

夏期は海水浴・水遊びや魚釣りなど活動的な季節である反面、水難事故の危険性が高い時期でもありますので、十分注意してください。

- 1 子どもだけでの水遊びはさせないようにする。
- 2 子どもから目を離さない。
- 3 飲酒しての遊泳は絶対行わない。
- 4 適度に休憩をとり、無理なスケジュールを避ける。
- 5 浮き輪やロープ等の救命用具を準備しておく。
- 6 釣りは、高波と足場に十分注意し、救命胴衣をつける。
- 7 河川での水遊び中に天候や水量の変化に気が付いたら、すぐに川から上がる。

警察官B・警察事務職員 募集（高校卒業程度）

- 願書配布 6月中旬
- 文書による受付期間
8月10日(月)～8月28日(金)

受験資格など詳しいことは警察署で配布している受験案内・受験申込書または熊本県警察ホームページで確認してください。

〈問い合わせ〉 高森警察署 TEL(62)0110

なつごども

南部分署

熱中症に注意しましょう

本格的な夏の暑さが近づいてまいりました。夏の暑さにバテ気味になっていませんか？ そんな季節に注意してほしいのが熱中症です。熱中症は屋内外を問わずに高温多湿が原因となって起こります。毎年、多数の患者が搬送されますが、その内の約半数は高齢者が占めています。最悪、死に至る危険な症状です。

熱中症を防ぐポイント

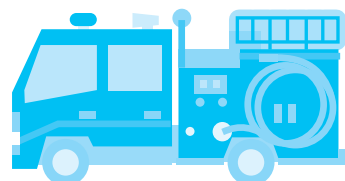
1. 屋内外問わず作業、運動を行う場合は適度な水分、塩分を補給する。
2. 暑さを感じなくても無理な節電はせず扇風機やエアコンを使って温度調整をする。
3. 疲労がたまっている時は、無理をしない。
4. 通気性や吸湿性の良い服を着る。

熱中症になったときの処置

1. 涼しい場所に避難させる。
 2. 衣服を脱がせ、身体を冷やす。
 3. 水分、塩分を補給する。
- ※自力で飲めない、意識がない場合は直ちに救急要請しましょう。

暑さの感じ方は人によって違います。

特に高齢者の場合は、暑さや水分不足に対する感覚機能が低下しているので、熱中症にかかりやすい状態になっています。そのため、喉は乾いていなくても早めの水分補給や、暑くなくても扇風機を利用するなどの温度調整を行いましょう。そして、周りの人たちが熱中症予防を呼びかけて、熱中症の発生を防ぎましょう。



〈お問い合わせ〉 阿蘇広域行政事務組合 消防本部 南部分署 TEL(62)9034 火事・救急 119